



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」

「これでよいのか」

「さあやるぞ」

豊かな心を育むために

「朝顔に つるべ取られて もらい水」という俳句があります。

江戸時代の朝は、井戸に水を汲みに行くことから生活がはじまりました。その井戸の桶に朝顔のツルが巻きついてしまい、取り除くのがかわいそうなので、他の井戸から水をもらってこよう、という意味です。つくった人の心の優しさを感じます。

それでは、自分が種から育てた朝顔にはどんな気持ちを持つでしょう。きっと、大好きな妹や弟、家族等に対する気持ちと同じでしょう。

自分で育てたから好きになるのでしょうか。

さて、本校は毎年1年生の教室前に「みどりのカーテン」をつくっています。5月になりゴーヤのツルが伸び始めたら、花壇に植え替えます。ゴーヤが大きく窓いっぱい広がったカーテンを想像します。花壇のどこに、どのぐらいの間をあけて苗を植えるのか、考えて決めます。ツルをはわせるネットの準備もします。

次に、肥料や水やりの計画をします。自分の考えだけではうまくいかないなので、経験豊かな本校ファームリーダーの成澤さんに話を聞いたり、本等で調べたりします。

実際に育て始めると、いろいろなことが起きます。

ある朝、ゴーヤのたくさんの葉に穴が空いていました。成澤さんに聞いてみると、ナメクジが原因でした。原因がわかり無事に退治できました。

水やりのたびに、葉やツルが育っていくのを見るのが楽しいです。やがて、真夏の太陽の光をしっかりとさえぎるすてきな「みどりのカーテン」のできあがりです。実もおいしくいただけます。ゴーヤ大好きです。

自分で考え、調べ、世話をすることで愛着がわき、好きになります。

ご家族でも植物を育ててみませんか。

